



菅波 茂

「めざせ国際貢献空港」。岡山空港にかける期待である。岡山空港をアジアおよび太平洋地区の緊急救援活動のための空港にするという大胆な発想はいかがであらうか。

阪神大震災に私たちは多くの事を学んだ。一番重要なことは日本国内でも大災害が発生するという過酷な現実である。それに伴う緊急救援活動体制確立の必要性である。即ち、活動拠点の確保に加えて通信と輸送の確保である。特に救援活動にかけつける人々と共に緊急救援物資の輸送は本命中の本命である。緊急救援のスピードは航空機によって可能になる。

現在の世界情勢では緊急救援活動を求められる自然災害や難民発生が多い。WHOは緊急時の医療

活動を担当しており、緊急医薬品発送の拠点をオランダのアムステルダム空港に置いている。緊急時には四十八時間以内にアムステル

## 岡山空港への期待

ダム空港から医薬品が全世界の被災現場に届けられるシステムである。しかし、アムステルダムから

アジアまでは遠すぎ

る。アジアにも拠点

空港が必要である。

この場合はインド以

東が活動範囲にな

る。岡山空港がその

機能を果たすため

に、岡山に緊急医薬

品集積システムと倉

庫があればよい。関

西新空港からアジア

および太平洋諸国に

むけてナショナルフライトが運行

されている。必要があればサハリ

にチャーター機を利用するのも可能である。この緊急医薬品輸送システムは同時に日本国内の災害発生時にも活用できる。システムの

運用には国連、被災国、日本政府、

岡山県そして民間の四者間協力が

大前提である。AMD Aを中心と

したNGOネットワークがその中

核も役割を果たす。

国際貢献トピア岡山構想は国連

機関の集積地であるジュネーブと

連携して緊急人道援助などの国際

貢献を推進しようという趣旨であ

る。国連機関にはWHOの他に国

連難民高等弁務官、国連人道問題

局、国際移住機構、国連ボランティア計画、等々がある。世界の人道援助活動実施においてこれらの

国連機関とNGOは不可欠の協力

関係にある。

日本を含めたアジアに貢献する

岡山空港は国際貢献トピア岡山構

想のシンボルになる。

(アジア医師連絡協議会代表・

題字は筆者)